

組織内で理解を深めるために

## リーダーや担当者は時として孤独です。

### まずは身内の理解から

協働をリーダーや担当者に任せっきりでメンバーは協働相手のことも事業の内容もよく知らない、そして動かない。こんな経験ありませんか？

まずは、組織内で協働についての理解を深めることから始めましょう。



#### 1 身内に協働する相手を知ってもらおう

身内に協働する相手のことをきちんと知らないと、内部でぎくしゃくすることもあります。窓口を担当する人はまずは身内に協働相手の思いや状況等を説明すると良いでしょう。

#### 2 担当者だけに任せない

協働はお互いの組織で進めるものですが、いつの間にか担当者だけしかその協働事業の詳細を知らないってことも起こりえます。担当者がかわっても協働が継続できるよう、組織としてフォローできる方法を考えておきましょう。

#### 3 リーダーの孤独を支える

メンバーの多様な意見を調整して決断するため、リーダーは時に孤独にならざるを得ません。その苦勞を理解して、ちょっとした気づきがあるとリーダーは随分と気持ちが助けられるものです。

#### 4 困ったときに頼りになる第三者を味方に

お互いの組織のことを知っている中立的な立場の人がいると困ったときに良いアドバイスをもらえたり、協働する相手との調整をしてくれたり、何かと頼りになるものです。そういう人を見つけ、日頃から接点を持っておくと良いでしょう。

#### チェックリスト！

- 身内に協働する相手のことをきちんと説明できていますか
- 担当者やリーダーが一人で課題を抱え込んでいませんか
- 困った時に話せる相談相手がありますか

